

まさき議会だより

No.123

2024年11月1日発行

9月定例会



P 2 決算審査「性別別から見た126億円」の使い道は！

P 9 一般質問 7人が町政を質す

P14 子ども議会が開催されました

P17 子ども議員に聞きました

松前町
議会中継
[録画]



令和5年度 一般会計 歳出決算額 **126億円** の使い道は!

義務的経費・ 投資的経費って?



義務的経費とは、支出が義務付けられていて、削減が難しい経費のことよ。

家計に例えると、家賃やローンの返済に似ており、必ず支払わなければならないものよ。

投資的経費とは、施設建設など、将来にわたる資本の形成に向けられる経費のことよ。

家計に例えると、家や車庫を建てるためのお金に似ているかな。

扶助費って?



扶助費とは、児童、高齢者や障がい者への支援にかかる経費だよ。

他の用語も教えて。



人件費とは、町長、職員の給与や議員報酬など
公債費とは、町が借りた地方債の返済(元利償還金)
普通建設事業費とは、道路や施設の整備にかかるもの
補助費等とは、ごみ処理や消防の負担金など
物件費とは、消耗品費や委託料など
繰出金とは、特別会計に支出される経費
積立金とは、特定の目的のために積み立てるもの
投資及び出資金・貸付金とは、上水道への出資金など
維持補修費とは、公共施設の修繕費、ということなの。

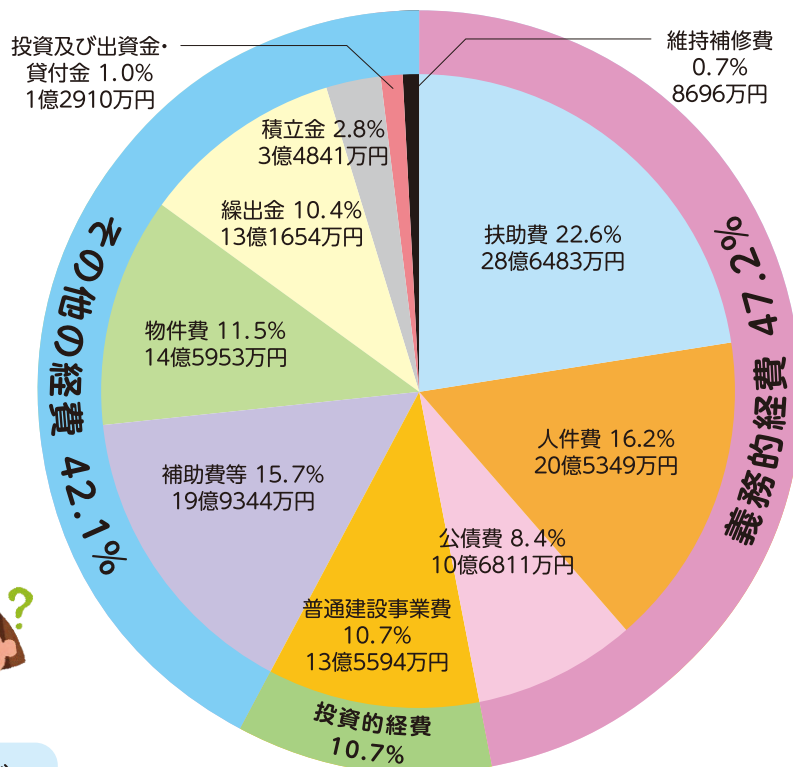
性質別決算を見る必要はあるの?



「義務的経費は支出が義務付けられていて、簡単に削減できない」よね。そのため、収入が増えない中で義務的経費が増えると、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなるんだ。だから、義務的経費の額や割合を見ることも大切だよ。
このように性質別決算を見た方が分かりやすいこともあるんだよ。

性質別決算

※1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。



令和4年度決算と比較して大きく変わったところは？



扶助費は、
物価高騰対策として実施した住民税非課税世帯に対する給付金事業が2億2596万円増額、住民税均等割のみ課税世帯に対しても給付事業(7825万円)を実施、自立支援給付費が6530万円増額、子ども医療費が3847万円増額などにより、4億1357万円(16.9%)の増に。

普通建設事業費は、
庁舎空調設備の改修工事(1億1946万円)、第8分団消防詰所の建設工事(1億1240万円)、江川排水路の改修工事(5864万円)の実施、令和4年度に引き続き実施した白鶴保育所改築工事が1億1055万円増額などにより、4億6911万円(52.9%)の増に。

積立金は、
大規模地震災害対策基金への任意積立てがなかったこと(3015万円減)、財政調整基金への法定積立てが少なかったこと(5470万円減)により、8424万円(19.5%)の減に。

投資及び出資金・貸付金は、
公営企業が実施する浄水場施設整備に対する出資金が1億2040万円増額などにより、1億2540万円(3389.2%)の増に、なっていたね。

令和5年度歳入歳出決算

すべての
決算は？



右表の
とおりだよ。

一般会計	歳入	132億5150万円	歳出	126億7639万円
国民健康保険特別会計	歳入	31億4927万円	歳出	30億3666万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	5億1687万円	歳出	5億 254万円
介護保険特別会計	歳入	30億7066万円	歳出	29億9780万円
保険事業	歳入	1830万円	歳出	1080万円
介護サービス事業	歳入		歳出	
水道事業会計	収益的収入	4億7170万円	収益的支出	3億9690万円
	資本的収入	6億6154万円	資本的支出	8億8238万円
下水道事業会計	収益的収入	5億1741万円	収益的支出	4億 249万円
	資本的収入	2億2798万円	資本的支出	4億5682万円

※水道事業会計・下水道事業会計ともに、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度消費税などで補っています。

監査委員からの審査報告と提言



○ 一般会計

財政諸指数は良好な状態

- 1 既存の経常経費の更なる節減に努め、特定財源の確保や基金運営の見直しなどにより、適正な財政運営を。
- 2 事業の必要性や目的を明らかにし、業務改善や事務事業の再編・整理を行うなど、課題の抽出、新たな視点や柔軟な発想による改革を。
- 3 納税の公平性を守る上で、滞納繰越課税分に関して改善が必要。
- 4 効率的・効果的な行財政運営を図るための事務事業評価制度を深化させ、DX との連携も視野に。また、業務の適正な執行を目指す内部統制制度導入の検討も。

○ 水道事業会計

- 1 給水人口の減少など、収益的に厳しい状況が予想されるため、経常経費の削減や水道料金の見直し、徴収率向上など経営改善に向けた取組を。そのための計画の早期策定を。
- 2 最適規模の施設による効率的な運営を目指し、長期的な計画に基づいた安定的な経営を。
- 3 経営戦略の基本方針に基づいた計画的な経営の実行と経営環境の変化に対する質の高い見直しにより、将来にわたっての安定的な事業継続を。

○ 下水道事業会計

- 1 収益的収支には一般会計が負担する経費が含まれており、今後も独立採算の原則に立ち、経営の健全化を。また、企業債の現在高は減少しているが、今後も動向に注意しながら運営を。
- 2 収益の基盤である下水道使用料を着実に徴収できるよう整備済区域における未接続世帯の早期接続を図り、より適切な運営に向けての経営努力を。
- 3 経営戦略の基本方針に基づいた事業推進に努め、決算分析や社会状況の変化を捉えた事後検証を行うことで、将来にわたっての安定的な事業継続を。

令和5年度決算審査

予算決算

事業成果を
チェック①

上下水道事業への繰出金

課題：過度な負担とならないように、繰出額を抑制する必要がある

問 令和4年度と同じ課題だが。

答 ・水道事業(繰出金 1億2434万円)について現在、浄水場整備を行っているため難しいが、抑えるよう協議している。
・下水道事業(繰出金 3億3697万円)について必要な工事もあり急に減らすことは難しいが、毎年調整しながら進めている。



建設中の浄水施設

運転免許自主返納支援

問 乗車券以外の見直しがあるのか。

答 タクシー券とICカードが選択できるが、自主返納しやすい環境整備を図っていく。

税の収納方針

問 納付しやすい環境の整備は。

答 地方税統一QRコードを納付書に印字し、収納チャネルの多様化を図った。

道路・河川の維持管理

問 施設整備や維持管理費増加への財源確保が課題とあるが。

答 経費を抑えつつ、少ない財源の中で安全面を確認しながら行っている。



安全第一に

農地集積・集約化支援

問 畦畔除去の状況は。

答 令和5年度は3名が利用。畦畔除去の補助を行い、農地集積・集約化が図られ農作業の効率化につながった。



肥料散布もトラクターで

今後、考えをいっくぐきいじりは

高まってきた防災意識 いざという時のために!

- ・防災士 240人(平均年齢61.6歳)
- ・高校生など若い世代も増加

問 女性防災士を増やすことが課題だったが。

答 地区の推薦時に女性を加えるよう要望。
令和5年度の新規資格登録者は
男性10人、女性6人

意見 有志による松前町防災士の会設立のバックアップをし、災害が起きた時のためにも県支部や他市町との連携と情報収集を行ってもらいたい。



事業成果を
チェック②

住民同士が支え合う
地域社会づくり

児童生徒の見守り活動



問 交通安全指導員の確保は。

答 現在25人
高齢化が心配されるが、区長にお願いしている。

救命安心センター#7119

- ・病院へ行く? 救急車を呼ぶ?
迷ったら☎#7119へ

問 運用状況は。

答 令和5年7月
からの9ヶ月
間で189件



進む 危険空家の除却



問 除却後の維持管理費が増加しているが。

答 除草等の対策費が増加。コスト縮減
のため職員が行うこともある。

進まない 個別避難計画

- ・個別避難計画には近隣協力員
として避難支援する人の記載
が必要

問 件数が伸びていないが。

答 協力員としての責任を重く感じるため、策定に結び付かない。引き続き重要性を周知していく。

地域の敬老会に補助

問 課題に事務負担の軽減とあるが。

答 令和6年度から敬老会を実施後に、
1回の手続きに簡素化。

意見 23地区のうち13地区が実施だが
不平等にならないよう検討を。

犬・ねこの不妊去勢手術

- ・手術助成
飼い犬 33匹
飼い猫122匹
地域猫 72匹



課題 猫の苦情が多く、飼い方のマナー
について周知が必要。

学校生活支援員(37人)・ハートなんでも相談員(6人)

- ・学校生活支援員は
サポートが必要な児童生徒の介助や学習支援、安全の確保をする

問 子どもたちに、より細かに対応するための人員確保は。

答 支援が必要な子ども100人に対し、37人の支援員を配置。

- ・ハートなんでも相談員は
悩みや不安を抱える児童生徒の心のケアにあたる

問 体制の拡充が課題だが。

答 小中学校6校に各1人ずつ配置しており、相談しやすい雰囲気づくりに配慮し、子どもたちや保護者からの相談を受けている。
内容によってはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携を図っている。



事業成果を
チェック③

子どもたちの未来のために

私立保育所の安全対策



町内私立保育所送迎用バスへ安全装置導入の補助



問 設置後の指導確認は。

答 装置に任せきりにするのではなく確認の徹底を周知する。

若年出産世帯応援事業



問 制度の周知と利用者の意見反映はどのように。

答 実施したアンケートを参考に、事業の改善や周知に活用していく。

中学校の部活動地域移行



問 効果などは。

答 教員の負担軽減につながった。野球等の多人数競技は、町内で合同部活動の受け皿作りを考えている。

慎重に審査し、
令和5年度の決算を
認定しました。



令和6年度一般会計補正予算(2回目)

1億8115万円を増額

予算決算

補正予算を
チェック

木造住宅耐震化の促進

2229万円



問 予算額に達した場合は。

答 耐震化を進めるために普及促進を行い必要に応じて再度補正予算を組む。

家具固定器具購入費用

150万円



問 一世帯に上限1万5千円で100件の予定だが。

答 件数を超えた場合は柔軟に対応したい。

町立保育所事故防止 カメラ設置

250万円



- ・未設置であった保育施設への増設
- ・保育室の状況を職員室で見るためのネットワークの構築

人工呼吸器の非常用 電源確保

250万円



- ・災害等による停電時に必要な電源が確保できるよう給付項目に追加。

農業の担い手総合支援

1008万円



問 要望が多くなった場合は。

答 要望が増えた場合は補助率が下がる場合がある。機械を購入する場合、今年度必要かどうかの聞き取りを行い対応する。

その他の補正予算

国民健康保険特別会計	655万円
後期高齢者医療特別会計	115万円
介護保険特別会計 保険事業	7844万円
介護サービス事業	149万円
水道事業会計	121万円

償還金 3131万円など

急がれる安全安心なまちづくり

文教厚生
総務産業
建設

町民の暮らしによりそった改正を

二名保育所跡地の所有権移転登記手続きの請求

問 なぜ保育所跡地に民地が残っているのか。

答 昭和28年に当時の北伊予村が保育所用地を確保した時点で、相続登記ができていない土地があったと推測される。

問 問題なく所有権移転登記ができるのか。

答 登記については時効取得が可能と考えている。

意見 相続人の確定など、事務作業が煩雑な部分もあるが、円滑に業務を進め、費用が増大しないように進めてほしい。

総合文化センター
中規模改修

機械設備工事
5082万円

建築主体工事
1億1220万円

町営住宅管理条例の
一部改正

問 DV加害者の入居者に対する退去命令となると、トラブルに発展するおそれがあるのではないか。

答 退去命令の際には危険を伴うおそれもあり、その際は警察にも協力も仰ぐようにする。

水道料金の改定



問 安定した供給をするためには値上げはやむを得ないが、住民説明会等は実施するのか。

答 今後もHPのほか、各種SNSで周知していく。

松前町職員定数条例の
一部改正

問 業務効率を上げるための試算はしていないのか。また職員は正しく採用されるか。

答 職員を増やすことにより時間外勤務の多さを解消する。定年延長に伴う該当職員の60歳以降の働き方を把握し、職員採用計画を策定していく。

議員提出議案

防災・減災・国土強靱化対策の更なる推進のため、意見書を提出しました。

人 事

教育委員 廣藤絢子さん(筒井)
選挙管理委員

小糸和夫さん(筒井)
渡辺正治さん(南黒田)
久津那博さん(鶴吉)
松浦憲夫さん(西高柳)

選挙管理委員補充員

永見修一さん(浜)
安達保夫さん(浜)
藤井秀治さん(昌農内)
井口 等さん(中川原)

その他の議案

- ・ 地方税滞納整理機構の事務・規約の変更
- ・ 国民健康保険条例の一部改正
- ・ 行政手続におけるマイナンバーの利用等に関する条例の一部改正
- ・ 後期高齢者医療広域連合規約の変更

全て慎重に審査し、いずれも可決しました。



一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。

町民の防災意識の向上を

3月に防災意識向上の
啓発日を設ける

問

町民の防災意識維持のため、半年に一度、防災意識を高める日を設けてはどうか。

答

時間の経過とともに防災意識が低下することを防ぐために、毎年9月の第1日曜日に開催している総合防災訓練から半年が経過する3月に、松前町独自の防災意識向上の啓発日を設けたい。なぜ3月かという点、3月は「防災用品点検の日」があるほか、平成13年3月24日には芸予地震が発生しているからである。



藤岡 緑
議員



行政分野に女性管理職の登用を

さまざまなことに
配慮した人事管理を

問

町は性別にとらわれない、平等感のある組織になり得るか。

答

管理職の登用には、性別に対する固定観念や偏った考え、いわゆるジェンダーバイアスにとらわれた昇進は行っていない。また、女性職員が働きやすい職場環境づくりのため、出産・子育て期に配慮した人事管理を引き続き行う。



部課長クラスの女性管理職の割合が今後増えていくためには、女性が仕事をしっかり続けていける環境整備も大事だ。

窓口に、軟骨伝導イヤホンを

役場の窓口に導入して
いきたい



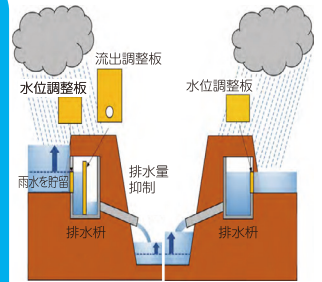
影岡 俊範
議員



問 高齢の方で難聴であるにも関わらず、自分では聞こえているつもりの方が多い。窓口などで聞き漏らしがあり、社会生活上に支障が生じる場合がある。対策として、窓口に「軟骨伝導イヤホン」の設置を。

答 軟骨伝導イヤホンは、耳周辺の軟骨を振動させて音を伝えるイヤホンで、音が大きく明瞭でいて音の漏れも少ない。

話し手側の声を聞き取りやすく衛生的で、意思疎通を図る手段として効果が期待されるため、窓口に導入していきたい。



「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ

農林水産省
「田んぼダム」の手引き

激甚化する豪雨対策に「田んぼダム」の設置を

実効性のある防災・減災
対策とするには課題が

問

地域の防災・減災対策の「田んぼダム」事業に取り組む考えは。

答

町内の水田は、ほとんどがコンクリート畦畔となっており、かさ上げするのは、農業用機械の運転作業などに影響が生じることから現実的ではない。

先進地事例を参考に効果が見込まれるエリアを検討した上で、関係する土地改良区や農家の方と実施について協議の場を設けていきたい。

雨により、最近急激に水かさが増しているが、田んぼダムによってそれも軽減できるのではないかと。ぜひ設置の推進を。

保育所の土曜日の開所時間延長の考えは

今後、延長に取り
組んでいく



曾我部 秀司
議員



問 令和6年4月1日時点、県内の待機児童数は0人。しかし、各地で潜在的待機児童は存在しているが、本町は。

答 潜在的待機児童数は6人で、0歳児1人、1歳児4人、2歳児1人。理由は、特定の施設のみを希望しているケースが5人、育休延長のために施設への入所が保留されることを希望するケースが1人。

問 来年度から認定こども園の土曜日の開所時間は、18時30分まで。町立保育所は12時30分まで。応募の関係で来年度からは無理



だが、将来的に町立保育所も土曜日は18時30分までに延長する考え（4園すべてではなく、まずは1園だけでも）は。

答 現時点では、必要数の保育士の確保が難しいため、土曜日の開所時間を延長するのは現実的には難しい。

一方で、保護者からのニーズがあることは認識している。

今後、応募状況や利用状況を見極めたうえで、延長する保育所の数も含め検討する。必要な体制が整った段階で、1園からでも土曜日の開所時間の延長に取り組んでいく。

保育士確保がまず優先である。しかし、土曜日の午後も保育を希望する人数が増える可能性は非常に大きい。早急な対応を。

新型コロナウイルスの健康被害の危険性は周知するのか

説明書に記載をして、
情報提供に努める

問

厚生労働省が公開したコロナワクチンの予防接種健康被害救済制度の認定件数は、たった3年半で、7千994件、死亡認定件数は777件（令和6年8月30日時点）となっている。

答

この数字からみても危険性が高いと思われるが、健康被害の情報提供はどのようにするのか。
現在も町ホームページにワクチン接種による副反応と健康被害救済制度について掲載しているが、定期接種に当たり、これまでと同様、対象者へ渡す説明書に記載して、情報提供に努める。



池田 幸子
議員

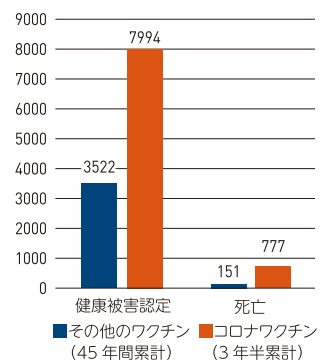


対象者が接種の是非を正しく判断できるよう、正しい情報提供を。

予防接種健康被害救済制度の申請の状況は

申請件数3件
正しい情報提供に努める

予防接種による
健康被害救済制度の認定件数
（厚生労働省より）



問

本町における予防接種健康被害救済制度の申請の状況は。また、健康被害のリスクについて町の考えは。

答

申請件数3件。これまで、あくまでも個人の判断によって接種できるよう努めてきた。本年度からは接種の勧奨もなくなったが、今後もワクチン接種における正しい情報を提供し、接種する方がリスクなどについて十分理解して接種できるよう努める。

新立・本村地区空家除却の現状は

13年間で46戸の除却

老朽放置空家除却事業の進捗は。

問

本事業は、防災・減災上の対策とともに、将来の地域活性化を図るため、土地を寄附していただくことを条件にしている。

平成23年から事業を開始し令和5年度までに46戸の除却を行った。

空家は年々増加していることから、再度、実態調査を行い事業の推進に努める。



除却前



除却後

問 答

寄附された土地の利用方法は。新立・本村地区は、地区内道路が狭あいであるため、防災面における住環境の問題を多く抱えている。寄附を受けた土地は、公共空地として管理し、将来的には道路整備事業と区画整理事業の導入を検討することで地域活性化につなげる。



池内 邦仁
議員



子ども議会からも要望があった、ボールが使える公園やスケートボード練習場に整備するとか、防災面からも併せて考えてみては。



南海トラフ巨大地震 対策が先では

優劣を付けず、
防災・減災対策を

問

南海トラフ巨大地震の可能性にかんがみ、国から義務化された個別避難計画の進捗状況は。

答

地域の自主防災組織や民生委員・児童委員の協力のもと、避難行動要支援者と個別に打合せを行いながら、一人ひとりの避難支援プランを策定している。

本年7月に支援者会議を開催し、医療ケア者の個別計画を策定した。その他の避難行動要支援者についても、できる限り早期に、町と関係者とが連携をとりながら、実効性のある個別避難計画の策定に努めていく。



西村 元一
議員



南海トラフ巨大地震が起これば、この貯留施設はつぶれてしまうだろう。それならば他にするところがあるのではないか。

問 貯留施設建設よりも南海トラフ巨大地震対策が先ではないか。

答 南海トラフ巨大地震対策として、公共施設や木造住宅の耐震化など、様々な施策に継続的に取り組んでいる。

浸水対策として、保育所跡地に整備する貯留施設のほか、様々な改修工事などを実施している。

本町は、南海トラフ巨大地震のほか、様々な自然災害のリスクを有していることから、これまで優劣を付けず、防災・減災対策に取り組んできた。今後も、安全・安心なまちづくりに努めていく。



部長制度廃止の考えは

現時点で廃止の予定はない

問

部長制度については、前々町長が実施を始めたが、今後この部長制度についてどのように考えているのか。

答

現在、部長に一定の権限を持たせることにより、関係課が統一した指揮のもと、迅速に町政運営や住民ニーズに対応することができるようになった。

以上のことから、部長制度は必要であり、現時点で廃止・見直しの予定はない。

なお、今後の社会情勢や行政需要の変化に伴い組織体制を見直すことが必要になった場合は、組織の最適化について検討する。



加藤 博徳
議員



働き方改革で、職場が明るくなるように。

問 今年度になって6か月が過ぎたが、本町の取組状況は。

答 本年4月から7月までの実績は執行額で約250万円程度削減された。ワーク・ライフ・バランスに支障をきたさないためにも、引き続き全庁的に時間外勤務の短縮に努める。

引き続き取り組む

残業削減の取組は



権利の放棄（2件）

1 放棄する権利

- 松前町新型コロナウイルス感染症対策雇用調整助成金等申請事務委任手数料補助金の未返還額(10万円)のうち一部の額の支払請求権
- 水道料金の未納額(15889円)のうち一部の額の支払請求権

2 放棄する理由 債務超過のため補助金未返還額と水道料金未納額の全額回収が不可能であり、権利を放棄して債権整理を行うため。

問 申請書類に不正があるかどうか確認せず、補助金を支払ったのか。

答 この補助金は申請するための手数料を補助するもの。助成金の不正受給が判明したため、手数料の補助金も交付を取り消した。

①



②



請負契約

- ① 塩屋排水機場整備工事
- ② 筒井地区雨水貯留施設整備工事
- ③ 江川住宅外壁改修工事(1・2棟)
- ④ 松前幼稚園
園舎増築及び改修建築主体工事

契約金額 1億1858万円

契約金額 18億2655万円

契約金額 1億 758万円

契約金額 1億7358万円

8月8日に開催された第2回臨時会では、6件の議案が提出されました。

賛否が分かれた議案もありましたが、いずれも可決しました。



③



④



賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議員名	重松	池内	池田	西村	渡部	曾我部	住田	田中	城村	影岡	稲田	村井	藤岡	加藤
議案														
筒井地区雨水貯留施設整備工事	○	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●
江川住宅外壁改修工事(1・2棟)	○	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わらない。

子ども議会が開催されました

本会議一般質問(8月9日)

子ども議員10人が、日頃の生活で気付いたことや感じていることを質問しました。

質問内容

理事者答弁



みずまち まさとし
水町 仁俊

- 松前公園の
- ①公園の自転車乗り入れの規制は。
 - ②壊れている遊具の修繕は。
 - ③新しい遊具がほしい。
(ブランコ・ジップライン)
 - ④無料の給水の場所がほしい。

- ①注意をしたいと考える。
- ②何年後かに大がかりな修繕を予定している。
- ③ブランコやジップラインは難しいが新たな遊具を設置するときには参考にする。
- ④体育館のロビーに設置しているウォータークーラーを利用してほしい。



いわつ そらと
岩津 昊斗

- ①町内の公園はすべて、ボールを使つての遊びは禁止しているのか。
- ②公園でボール遊びを禁止しているなら、松前公園のグラウンドを無料で使えるようにできないか。

- ①松前公園とホッケー公園を除く公園はボール遊びを禁止している。
- ②松前公園の多目的広場でボール遊びができ、無料で自由に使える時間が作れないかなど、施設を管理している業者と話し合い、考えていく。



あだち ほのか
足立 穂華

- ①歩道に張り出している木の枝を切してほしい。
- ②安心して通れる通学路への取組は。

- ①役場のまちづくり課から所有者に木の枝を切ってもらうよう伝えるので連絡してほしい。
- ②松前町通学路安全対策推進会議を開いているので、危険だと思う場所は学校の先生に報告してほしい。



いけうち あいり
池内 愛理

- ①不審者対策の意向は。
- ②ポスター作品のテーマに入れてはどうか。
- ③不審者と見誤らないようにするためには。

- ①警察官や防犯関係ボランティアの方々などと連携して巡回や見守りを行っている。
- ②いくつかあるポスター作品のテーマの一つとして防犯も加えることを考えたい。
- ③不審者対策というより人権の問題なので、学習の機会に取り入れていきたい。



ささき こうたろう
佐々木 孝太郎

- ①災害時の避難所のペットの受け入れは。
- ②ペットを連れての避難訓練は。

- ①飼い主とペットの避難について、飼い主が避難をためらうことがないように、避難所運営マニュアルの改定作業を現在進めている。
- ②マニュアル改定後は、松前町総合防災訓練等でペットを連れての避難訓練を実施したい。



たなか ゆり
田中 友梨

- ①街灯の設置は。
- ②道路のへこみや段差の修繕は。

- ①工事費は役場が負担し、電気代は地域が負担しているため、要望の箇所があれば地域の代表である区長さんから役場へ申請してほしい。
- ②安全に皆さんが通行できるよう維持管理を行うには、住民の皆さんからの連絡が不可欠なので、ご協力をお願いしたい。



よしだ ももこ
吉田 桃子

スケートボード専用パークの設置は。
人気のスポーツであるが、町内にはスケートボードができる場所がない。
専用パークができることで、人が集まり、さらに、道路や公共施設を傷めず、安全に楽しめるのでは。

専用パークができれば、町が賑わうと期待できる。
また、子どもの健全な育成や居場所を作ることに繋がるのではないかと考える。
地域の人たちの声を聞き、他の市町の情報を集め、行政だけでなく民間企業などの連携も考えながら設置が可能かどうかについて調査や研究をしていく。



いとう ゆうま
伊東 優馬

- ①道路の整備が十分ではない箇所は。
- ②通学路のカーブミラーの設置や停止線は。

- ①安全に通行できない場所から順番に舗装工事を行っていく。
- ②カーブミラーについては各地区の代表者に要望書を提出してもらい必要性を検討して設置している。
停止線は警察の管理なので、危険性・必要性が高い場所については警察に要望している。
皆さんにも交通ルールを守って安全に登下校してほしい。



うえだ みゆ
上田 美結

- ①休み中の勉強スペースをつくってほしい。
- ②ライブラリーではなく、学校等にフリースペースをつくることはできないか。

- ①ライブラリーは誰でも自由に利用できるもので遠慮せず利用してほしい。
- ②平日、東・西・北の公民館の図書室は自由に利用でき、多少声を出して勉強を教え合える。
学校が休みのため空いている教室を利用したり松前総合文化センターの会議室を町が確保して勉強するスペースにしたりすることは今後できそうなので、検討していく。



なかつか ゆい
中塚 結衣

買い物時のお得になるキャンペーンについて、アプリや商品券の導入はできないか。

これまで、松前町も国からの交付金を活用し、プレミアム付商品券を発行しており、令和4年度の事業費は約2億800万円だった。
プレミアム付商品券やポイント還元は、経済の活性化や生活者への支援として有効だが、多くのお金が必要なため、国や県から交付金等が活用できる場合は実施を検討したい。



DAY1 【7月22日】

自己紹介
議会の仕組み説明
議場見学
オリエンテーション



議員の年齢は？ お給料はいくら？
年間、松前町政はどれくらいのお金がかかっているの？
などなど、質問もたくさん挙がりました。

一般質問通告書作成
リハーサル



DAY2 【8月1日】



DAY3 【8月9日】

本会議にて一般質問



子ども議員の皆さんおつかれさまでした。

子ども議員に 聞きました

思いを届けるため、一生懸命調べ、悩みながら言葉を紡いでいく姿に、大人もたくさんの学びをもらいました。

頑張っていた子ども議員の皆さんに学校生活や町のことなどについて聞いてみました。



学校生活で楽しいことは

- ◎先生やクラスの人と話すこと
- ◎みんなと遊んだり勉強したりすること
- ◎外遊び
- ◎給食
- ◎休み時間



今、頑張っていることは

- ◎習い事（ピアノ・スイミング・スケボー・空手・そろばん）
- ◎部活（コンクールに向けて）
- ◎野菜のお世話
- ◎猫のお世話
- ◎ボランティア活動



松前町のよいところは

- ◎田中町長になったこと
- ◎公園が広くて遊びやすい
- ◎田舎
- ◎自然が豊か
- ◎町がきれい
- ◎義農太鼓が好き
- ◎エミフルがある



松前町の問題点は

- ◎給食の黙食が嫌
- ◎勉強スペースがない
- ◎子ども（小学生）が遊べる場所が少ない
- ◎小学生が松前公園のグラウンドを無料で使えない
- ◎「みんくる」のような屋内の遊び場が少ない
- ◎海のごみ
- ◎夜のバイクの騒音
- ◎自転車の道路がない
- ◎ペットの避難場所がない
- ◎自然の家での身体の確認が嫌

議会に望むことは

- ◎子どもにわかりやすくしてほしい
- ◎ペットの避難場所を作してほしい
- ◎子どもの声に耳をかたむけてほしい
- ◎子ども向け意見交換会を開いてほしい
- ◎学校訪問してほしい
- ◎議員に頑張ってほしい



町民の声

議会広報への注文

匿名希望

松前町議会は、かつて開かれた議会を目指して2017年春に議会基本条例を制定。

2018年6月から約2年間は、その成果として、各委員会で質問した議員の名前が広報に載ってましたが、最近議員名が消え、さらには定例会の各議題に対する議決の賛否表まで削

除されています。

これでは改悪で、各議員の活動が見えにくくなり、情報公開が不十分になりました。

当然のことですが、公人である議員が質問したり討議するのは義務です。その公開もしかり。

議員各位にもお願いします。町民の期待に応えた皆さんの仕事を

もっと見せて下さい。先日の子ども議会に負けないように。

期待しております。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは11月末です。
300字程度で必ず名前・住所・連絡先・
ペンネーム(希望する場合)をお書きください。
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

12月10日(火)～23日(月)

一般
質問

12月16日(月)

インターネット
配信やってます



「議会だよりのリニューアルは？」

リニューアルして3号目。

「議会だよりのリ」はどうですか？

リニューアルの目的は、できるだけたくさんの方が手に取り、読んでいただける「議会だよりの」です。そして、最終的な目的は、皆さんに一番身近な議会活動や政治に関心をもってもらいたくことです。

そのために、

◎審査内容等を精選し、読みやすく分かりやすい内容に

◎議会の堅苦しさを感じさせないよう、タウン誌のようなデザインになるよう心掛けています。

今後、構成等を工夫していきま

すので、ぜひ一読を。最後に、読者モニターの声を紹介

◎文章量とイラストや写真の

比率がよく、読みやすい。

◎親近感がわいてきたとの声を聞いている。



編集後記

9月定例会では、議案の中でも特に重要な昨年度の決算を4日間 にわたり審査しました。皆さんの大切な税金で実施した事業の効果や課題を浮き彫りにしました。審査された内容を、令和7年度予算編成にどう生かしていくのでしょうか。まさに実りの秋の総決算なのです。

地域のサロンで学んだフレーズが浮かびます。

♪使って貯めよう筋肉貯金

みんな伸びばそう 健康寿命♪

筋肉は使うことで蓄えられていきます。予算で行う事業の一つ一つが筋肉のように町の長寿命化につながるよう、しっかり精査しなければと肝に銘じた決算認定でした。

(渡部 恵美)

議会広報常任委員会

委員長 曾我部秀司
副委員長 池田 幸子
委員 影岡 俊範
委員 城村トキ子
委員 渡部 恵美
委員 池内 邦仁
委員 重松 知之

